

【幼児】

新規	書名	本の紹介
	1 あおくと きいろちゃん	絵の具で描かれた青や黄色のまるが生き生きと動きまわり、絵本ならではの夢と感動をもたらしてくれる。作者が孫のために作ったという人間愛あふれる絵本です。
○	2 うんこ！	犬が道端にうんこをした。近寄ってくる動物はみんなうんこの臭いをかぐと「くっさーい！」と逃げていく。くやしくなったうんこは…。「うんこ」のダジャレも使ったユーモラスな絵本です。
○	3 おっぱい	柔らかくてあったかいお母さんのおっぱい。大きく優しく強く元気な子にしてくれた、ぼくの大好きなおっぱい。象さんだって豚さんだっておっぱい飲んで大きくなるよ…。温かくなる絵本です。
	4 かいじゅうたちのいるところ	ある晩、マックスはおおかみのぬいぐるみを着ると、いたずらをはじめておおあばれ。とうとう寝室にほうりこまれた。すると、寝室にによきりによきりと木がはえだして…。
○	5 くっついた	ページをめくると…くっついた！ その繰り返し楽しい赤ちゃん絵本。最後は赤ちゃんのほっぺを挟んでお父さん、お母さんとくっついた！ 赤ちゃんのまわりにいる大人までニコリ笑顔になる一冊です。
	6 ぐりとぐら	野ねずみのぐりとぐらは森で大きな卵を見つけた。大きな卵からは、大きなカステラができていった。
	7 くれよんのくろくん	ずーっと新品のままだったクレヨンたち。ある日、箱から飛び出したきいろくんは画用紙に蝶を描いて大喜び。次々に他の色のクレヨンたちを呼んできた。ところが、最後に残ったくろくんだけは、仲間に入れてもらえない…。
○	8 こすずめのぼうけん	初めて空を飛んだ日、こすずめは遠くまで飛びすぎてしまいました……。物語の展開につれて高まる緊迫感と結末の見事さが、子どもたちの心をとらえます。親子でぜひ読んでほしい一冊です。
○	9 さるかにか	さるとかにかが、おにぎりと柿の種を取り替えました。かにかが育てた柿が実ると、さるが山からやってきて「おれが登ってもいでやろう」と木に登りました。ところが…。子がにたちの「かたきうち」をユーモラスに描いた昔話絵本です。
	10 三びきのやぎのがらがらどん	山の草をたべて太ろうとする3匹のヤギのがらがらどんと、谷川でまちうけるトルル(おに)の対決の物語。

新規	書名	本の紹介
○	11 じゃぐちをあけると	じゃぐちをあけて、さあ、はじまり。指ではじいて、チュッ。手でたたいて、パシャー。コップにあてて、すべりだい。コップのうえにあてると、みずのふうせん…。水のふしぎな形がつぎつぎと生まれていく様子を描いた絵本です。本を読んだ後は、ぜひ思う存分実体験をさせたいです。
○	12 ちょっとだけ	なっちゃんは弟が生まれてお姉さんになりました。お母さんの手を借りずに1人で色々挑戦して、そのたびに“ちょっとだけ”成長していきます。がんばる子どもの姿を母親の愛情とともに描く絵本です。
	13 どうぞのいす	うさぎさんが作った椅子をめぐる次々に繰り広げられるとりかえっこ。「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わってくるロングセラー絵本。
○	14 にんじんさんが赤いわけ	温かい語り口調で、にんじんさん、大根さん、ごぼうさんがなぜ今の色になったかわかる本です。昔話の中の一つです。
○	15 ねえ どれがいい？	もしもだよ、きみんちのまわりがかわるとしたら、大水と、大雪と、ジャングルと、ねえ、どれがいい？ いろいろな場面を設定して聞かれます。究極の質問を楽しみながら選択して、やりとりを楽しんでほしい一冊です。
	16 はじめてのおつかい	子どもがいつか必ず経験する、はじめてのおつかい。ひとりのおかあさんが、子どもの体験をもとにつくった話。
	17 はらぺこあおむし	くいしんぼうのあおむしは、毎日もりもりと何でも食べつづけ？。数や曜日の認識をおりこみ、穴あきのしかけをこらした斬新な絵本。
	18 へんしんトンネル	「へんしんトンネル」という不思議なトンネルに入ると、何でも変身。カッパが「かぱかぱ」と言いながら入ると、ぱかぱかと馬になって出てくる。言葉遊びの絵本。
○	19 まあちゃんのながいかみ	まあちゃんの髪は今、おかつぱ。でも、「もっと、ずっと伸ばすんだから」と、まあちゃんがいいました。その長いことといたら…。女の子たち3人の会話の中の空想の世界を描いた、楽しい絵本です。
	20 わたしのワンピース	空から落ちてきた真っ白な布でワンピースを作ったうさぎさん。それを着て花畑を散歩すると、ワンピースが花模様に…。不思議な夢のある話。